



幸せな贈り物

## ホームレス



### いったいなにゆえですか？

**警察があきれて** ホームレスの生活をしていて、1,000万ウォン（約70万円）が入ったカバンを盗まれた50代の男性は、わかったところ50億ウォン（約4億万円）台の資産家でした。9月22日、インチョン中部警察署によれば、先祖から譲り受けた土地の報償金が50億ウォンに達して、通帳にだけ30億ウォン程度が入っていて、毎月の銀行利子だけ1,400万ウォンをもらっているAさん（52歳）は、結婚もせずに、家も買わないまま1年あまり前からインチョン市内の公園と会館などの土地を回りながらホームレスの生活をしてきたと明らかにしました。ホテルとモーテルなどで寝れば苦しくて、野宿生活を始めたというAさんは、身体も健康で精神異常もない正常な(?)状態でした。Aさんは毎月もらう利子を使いながら生きていて、お金を枕にして寝ながら、明け方に公園で運動するのが大きな楽しみだと言っていました。おいが1人いるのですが、お金をくれと言おうかと思って会うこともありませんでした。Aさんは、自分の事情がマスコミを通して知らされて、世論が揺れたので、盗難申告を担当した警察署側に「なぜ私の事情をマスコミに知らせたのか。これからはずっと野宿で生活したいのに、不安で生きていられるだろうか」と抗議しました。現在Aさんは警察のすすめで、お金のカバンの代わりにキャッシュカードを使っており、今後もずっと野宿で生活をする

計画であるということです。ホームレスもいろいろあるようです。

国ごとに経済発展と社会福祉増進を叫んで先進国の隊列に立とうともがいているこの時代に、笑うことができないことが行われています。後進国は言うまでもなく、先進国と呼ばれる国でもホームレスの急増は大きい社会問題として台頭しています。ヨーロッパの経済爆弾で台頭しているギリシャは、経済がたやすく好転する兆しを見せないのに、アテネ・オモニア広場は、昼休みごとに教会で支給する無料給食をもらおうと、ホームレスと失業者、移民たちで人だかりができていなかで、経済危機による自殺が40%以上急増していると言われていました。一方、日本はホームレスの予測統計が30万人を越えたとされていて、アメリカは国民6人の中の1人が貧困状態で、2009年ホームレスが156万人で、アメリカ人200人の中で一人の割合で、2010年には政府の食糧補助を受ける人が4人の中で一人の割合だと人口統計局が明らかにしました。ある場合には、高級乗用車BMWに乗って無料給食所に現れる人の数が突然二倍以上に増えて、この人たちは「新しい貧困層」と呼ばれています。一方、カナダもやはりホームレスの人口が急激に増えて、2007年に統計で把握されたホームレスの数が20~30万人の水準でずっと増加傾向であると、すでに明らかにされています。韓

国は2009年政府公式統計を見れば、ホームレス数が5,463人と明らかにされたのですが、これよりはるかに多いと見られています。一方、2005年国連人権委報告書によれば、今、全世界のホームレスは1億人だと明らかにされました。科学と産業の発達をもたらした人間の便利さは、もしかしたら貧富の格差という名前で最も大切な平安と幸せをなくした「ホームレス」という、もうひとつのみじめな身分を作り出しているのではないかと、人間の根本的な限界を今一度感じさせられます。

### いったいなにゆえでしょうか

このような人間の根本的な限界と問題に対して聖書は次の通り説明しています。人間は、本来、神様のかたちとして創造されました。人間は神様の子どもであり、神様と共に永遠にすべての万物を治めながら生きていく祝福を受けました。魚が水で生きて、木は土地に植えられて生きるように、私たちは目に見えない霊である神様とともに生きるように約束された霊的な存在でした。

ところが、人間はサタンにだまされて、その約束を破って神様を離れる罪を犯すようになりました。この時から人間の運命はサタンに左右されて、呪いと苦しみの中に陥るようになったのです。そうしていつも平安がなくて、不安な未来のために吉凶を占って、運命と運勢の厄運を防ぐためにお祓いをして偶像崇拜に陥るようになりました。いくら知識と名誉、お金が多くても満足がなく、なにかわからず不安で各種のストレス、不眠症、うつ病のような精神的な問題に捕われるようになりました。それだけでなく、肉体的な問題もくるようになって、不治の病、悪夢、名前の分からない病気に苦しめられたりもします。酒、タバコ、麻薬、ギャンブル、淫乱などあらゆる快樂で解決してみようとするのですが、より一層、むなしくて不安になり、深くなる孤独はどうしようもありません。この問題は、子孫にも相続という名前でそのまま伝えられて、三代四代まで苦しむようになる現実を私たちは否めないのです。結局、そのまま死んだら、死んでまで永遠な地獄の苦しみの中に陥るしかはないのが、神様を離れた人生の限

界であることを聖書は明らかにしています。私たちは、この問題を抜け出そうと、いろいろな努力をつくすのですが、いくら立派な善行や哲学、宗教、倫理、道徳ではサタンという霊的存在がもたらした問題を解決することはできません。

それで、神様は私たちの人間に大きい愛を与えてくださって、神様に会う道を開いてくださいました。それがまさにこの世に人間のすべての問題を解決する「キリスト」を送ってくださるという約束です。

(創世記3:15、ヨハネの福音書3:16、ローマ人への手紙5:8)人間となってこの世に来られ、サタンのしわざを滅ぼして(ヨハネの手紙第一3:8)十字架で血を流して死んで3日後に復活されることによって私たちの罪の問題を解決して(ローマ人への手紙8:2、マルコの福音書10:45、ヨハネの福音書19:30)神様に会う道を開いてくださいました。(ヨハネの福音書14:6)その方がまさにキリストである「イエス」です。

このイエス・キリストを私の救い主として心で信じて、口で告白すれば、私たちは救われて神様の子どもになります。(ヨハネの福音書1:12、ローマ人への手紙10:9~10)イエス・キリストを受け入れるとき、聖霊が私たちの中に臨んで、永遠に同行してくださり、私たちはすべての問題から解放されて、呪いの運命から抜け出して、まことの平安と安らぎを味わうようになるだけでなく、天国の国籍を得るようになります。

神様はこの喜びの知らせを地の果てまで伝える証人になるように、聖霊の力を神様の子どもに与えてくださいました。全地に福音が伝えられた後に、主の裁きと主の国が臨むことを約束してくださいました。神様の子どもに、主は驚くべき権威を与えてくださって、私たちが世界福音化の契約を握って祈るときに答えてくださり、御使いと天の軍隊を動員され、行く歩みごとに暗やみの勢力が崩れるようにしてくださいます。ついに地の果てまで福音で世の中を生かす祝福を味わう最も価値ある人生を生きるようにされるのです。

**「あなたは大切な人です」**

## 神様の他に また別の神がいるのか

「現代科学時代に悪霊は存在するのか?」と質問する人が、ときどきいます。しかし、この世には悪霊に取りつかれた人が多くて、悪霊を拝む人もたくさんいます。日本には八百万の悪霊がいると言われてます。そのためか、精神疾患者がアジアで一番たくさんいます。聖書には、悪霊の活動が記録されています。天から墮落したサタン（悪魔）は、多くの霊たち働かせています。それが悪霊です。（ヨハネの黙示録 12:1~9）軍隊の悪霊に取りつかれて精神が完全におかしくなった人も現れて（マルコの福音書 5:1~10）悪霊に取りつかれて占いをしながら、他の人と自分自身までも苦しみに捕えられるようになった女の記録も出てきて（使徒の働き 16:16~18）、悪霊に取りつかれて不治の病に捕えられている人々が、いやされて新しい人になる記録もあります（使徒の働き 8:4~8）しかし、悪霊は結局、祝福を与えることはありません。悪霊はだます事をよくします。いろいろな祭事とお祓いは、人に仕えさせようとだます悪霊の活動です。悪霊は日が進むにつれ困難と重荷をより増して与えます。お祓いをし始めれば、ますます大きいお祓いをしなければならず、日が進むにつれさらに苦しくなります。その証拠で、家族が理解できない病気に捕われたり、精神疾患に苦しめられたりもします。結局は、深刻な精神問題や不治の病に捕われるようになります。本来「悪霊」という名前は「汚いこと」という意味です。それで汚れた病気、汚れた考え、汚れたことをするようにさせ、人を付いて回っておかしな行動をとるようにもさせて自殺までさせます。聖書は断固として、悪霊は神ではなく被造物で墮落した御使いあることを語っています。悪霊、汚れた霊は同じで、サタンの手下です。この存在が全世界を難しくしています。多くの宗教と偶像を作り出しました。木の箱に入っているものが、どうして神様でしょうか。神様はそのような悪霊ではありません。神様は「おひとりだけで、まことに生きておられる創造主の神様です」と聖書は語っています（申命記 6:4）。人間を愛しておられる神様が、このようなサタンと悪霊の存在から人間を救って守るために「キリスト」を送ってくださいました。「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」（ヨハネの福音書 10:10）この世には、だれもサタンの権威に勝った者、罪ゆえの呪いと運命に勝った者はいません。この問題を解決されたキリストがまさに「イエス」です。それで、だれでもイエス・キリストを信じれば、すべての人が解決できない霊的な問題が解決されて、神様が聖霊とともにおられるようになる最高の答えと祝福を受けるようになります。「あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。」（ヤコブの手紙 2:19）「その霊に、『イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け』と言った。すると即座に、霊は出て行った。」（使徒の働き 1:18）

### 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださいました。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

### 神様の子どもの**毎日の祈り**

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

# 私の人生が



# を望むとき

先週まで、知っている人の職場で一緒に談笑しながらコーヒーを飲んでいたら、突然、自殺したという残念な知らせを聞いた。私にはどうしようもないことであるが、全く面識がない人であっても、そのような知らせはひそかな負担を与えるのに、まして、その家族はどうなのかと思う。ある青年が失恋の痛みを忘れられず、長く苦勞して、結局、自分の苦しみの人生をストップ（STOP）させるべきだとの考えに至った。それで、とても近い友人にだけその事実を知らせて、自分がいなくなっても、変に思わないでくれと言った。すると、その友人が言う言葉が、君の存在を君が見るにはどうかもわからないが、地球上で君一人だけいなくなるのは表には現れない。しかし、人生で一度世の中に出てきたら、世の中の価値は知って死ななければならないのではないか。だからベストセラー一冊だけ読んで、そのあとで、死ぬか、どうするか選択しろと言った。その言葉が一理あると感じたその青年が、それではベストセラーを推薦してくれと言ったら、歴史上最高のベストセラーはただ聖書だけだと言った。その日に聖書を購入した彼は、死ぬために、真面目に聖書を読んだ。何の話なのかも分からずに、難しい話が多かったが、人生の最後の宿題をするつもりで、時間さえできれば聖書を読んで、また読んだ。そのようなある日、彼は聖書で驚くべき発見をした。自分が人生で悩んで苦しむすべての問題が霊的問題であることを知ることになって、その解決がキリストであることを知ることになった。聖書を読む間、彼の問題は、いつのまにか小さくなって、彼の周辺に解答と祝福が多くあることが見えるようになった。死に走っていたその青年は、彼の人生をSTOPして、いまは堅実な事業家として疎外された者を助ける希望に満ちた計画を持って世界一周を計画しながら生きていつている。

バスに乗って目的地に着いて降りる時は、バスについている降りるボタンを押さなければならない。都市ごとに表示は違うが、赤い色のボタンにSTOPという字が書いてあるものを押してこそ、バスの運転手が目的地に止まってくれる。人生の道が若者には遠く見えて、老いては短く見える。目標が明らかで、人生の価値を現わす人に、その道は意味ある生活を送るようにさせるが、ある瞬間、その目標を混同して、混乱して、価値を失うようになるとき、人々は簡単に人生のSTOPスイッチを押して自殺しようとする。はやくスイッチを押して外に出て行くやさしい選択をするが、そのように休むと思える選択の後には、行わなければならない多くの苦しみとまた別の傷が隠れている。問題は千種類、万種類を越えるとしても、問題には必ず答えがある。私の問題に答えがないと感じるのは私だけの考えであって、人間の苦しみを根源から知っておられる神様は、とても簡単に人生の答えをくださる。あなたのすべての問題の解決のために、わたしが十字架でわたしのいのちを与えて、あなたのいのちに変えましたと言われる。道があるのにも道を探さずに、方法がないと断崖に身を投げる選択は愚かな死だ。もう、やみに向かう考えと心を明らかにSTOPさせなければならない。私の人生は神様が用意しておかれた祝福を味わうのにも時間が短い。したがって、苦しみの人生はSTOPさせて、福音の中に開いた新しい人生の道を祝福で歩こう。

チョン・ヒョングク（福音コラムニスト）

\*相談したい方はこちらまでどうぞ